

1 目的

今回は、総務省、内閣府から公開されている統計データから、各都道府県間の情報格差について調べた。

対象として、私たちが住む新潟の他に、大阪、山口、福岡、福島、長野、秋田、岐阜を選んだ。これらの都道府県は、班のメンバーのゆかりの地の他、新潟に面積に近い都道府県を選んだ。

2 方法

調査方法として、主に授業内で配布されてデータを使用した。各県のブロードバンド接続率が情報格差に繋がっていると考え、様々なパラメータと比較をし、視覚化をした。主にメンバー全員でデータを調査し、まとめた。

また、今回は全て平成 26 年度のデータを使用した。

3 結果

以下に調査結果を示す。

3.1 所得と接続率

3.2 所得増加率と接続率

3.3 人口と接続率

3.4 人口増加率と接続率

3.5 人口密度と接続率

配布資料に書かれてない情報として、各県の人口密度を調査してみた。

これは、人口密度が高い都道府県、所謂都会に近い場所の方が接続率が高いと考えたからである。

4 考察・感想

各調査を通して、各項目と接続率とはあまり関係性がみられないことがわかった。